



春の大多喜(平沢ダム)



太平洋を望む、左官塗りする風景

春爛漫となりました。お元気にお過ごしですか？ 大多喜現場に行く途中いすみ鉄道沿線で桜と菜の花が線路を挟んで咲いている風景が美しく心に残っています。桜の美しく咲くこの時期は一年の新たなスタートを実感します。ちっちゃな小学生の登校風景や学生服を着た生徒たちの初々しい表情に小さな緊張が感じられて、私も少しだけフレッシュになります。元気に楽しく毎日通ってほしい、と願わずにはられません。

いま健康住宅については、様々な呼び方や分類がされています。健康な住宅をつくるために自然素材にこだわっていくとそこにあるのは伝統の日本民家のすがたと重なってきます。ただ昔の素材に帰るだけではなく、現代の素材でもよいものは取り入れて工夫してしていくことが自然素材と向かい合っていく私たちの方向性であると思います。今回は、珪藻土を塗っている現場をご紹介します。

3月末に、堂本県知事より、経営革新計画の承認をいただきました。私のテーマである「長命住宅づくり」に拍車がかかっていきそうです。私たちの仕事が認められ少しずつですが多くの方に共感いただけるようになってきました。頑なに、自分達が信じる家づくりを続けていきたいと思ひます。

田植えする田園風景、そして大空にこいのぼりが泳ぐようになってくるともう連休がやって来ます。皆さまのご健康をこころよりお祈り申し上げます。

珪藻土とは



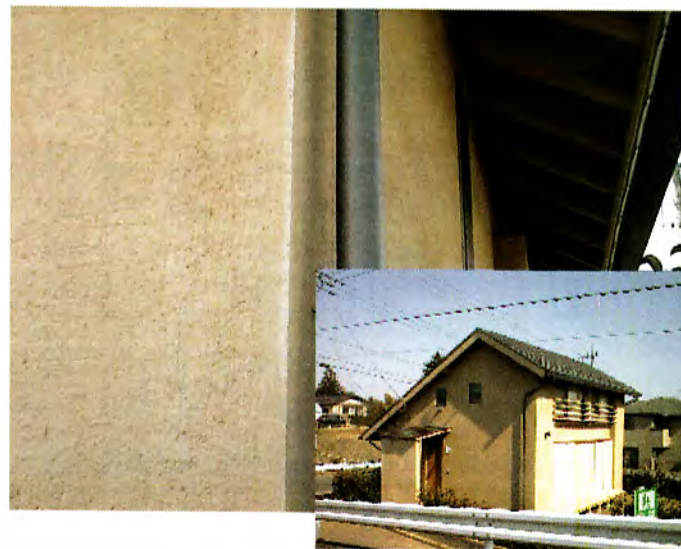
大きな壁・珪藻土をブラシで掻き落とし櫛目をつけているところ



土壁



上の写真は土壁材をこねたところと塗ったところ。下は塗りこんだ土壁です。これは上は泉幸甫さんが開発した土壁です。下の写真は3年後のもの。その風合いが素晴らしいです。



珪藻土について
珪藻土は海中にあったプランクトンの死骸が堆積してできたものです。粒子に孔が無数にあいています。粘性がないために単独では使用されず、セメントや石灰とスサなどの炭素繊維を混ぜて使用します。たくさんの珪藻土商品が開発され、発売されていますがそれぞれみな成分に違いがあります。また、珪藻土の含まれる比率も違います。断熱・調湿・脱臭・吸音の効果がある自然素材です。漆喰と同じく、熟練した左官職人が塗り上げる仕上げ方法です。いまはホームセンターなどでDIYでも施工可能な材料も販売されています。

発行者 ご連絡先
秋葉建設(株) 秋葉 忠夫
〒289-2163 匝瑳市南神崎52-1
電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824
Eメール master@woody-akiba.com
HP URL <http://woody-akiba.com/>